

第3期ロジスティクス環境会議
包装・梱包材の削減・適正化推進委員会（仮称） 第1回準備委員会

2008年6月10日(火) 10:00～12:00
(社) 日本ロジスティクスシステム協会 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 委員長、及び委員紹介

3. 報 告

- 1) 第3期ロジスティクス環境会議の概要、及び準備委員会の役割について

4. 議 事

- 1) 本委員会での活動内容について
 - (1) 環境会議におけるこれまでのアウトプットについて
 - (2) 活動内容について
- 2) 委員会の名称について

5. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : 包装・梱包材の削減・適正化推進委員会（仮称） 登録メンバー一覧
資料2 : 第3期ロジスティクス環境会議の概要、及び準備委員会の役割について
資料3 : 環境会議における包装・梱包材に係るこれまでのアウトプットについて
資料4 : 委員会の名称について（案）
参考資料1 : 第3期ロジスティクス環境会議 参加企業一覧（2008年6月6日現在）
参考資料2-1 : 省資源ロジスティクス事例集「C. 包装資材等対策」
参考資料2-2 : ロジスティクス源流管理マニュアルVer. 1「2. 包装」
参考資料2-3 : グリーンロジスティクスチェックリストVer. 1
参考資料 : グリーンロジスティクスガイド

以 上

【包装・梱包材の削減・適正化推進委員会（仮称）】
登録メンバー 一覧

資料1
2008.6.10

（敬称略・順不同）

		会社名	名前	役職
1	委員長	武蔵工業大学	増井 忠幸	環境情報学部 学部長
2	委員	SBSホールディングス(株)		
3	〃	キヤノン(株)		
4	〃	(株)コイケ		
6	〃	NPO法人 省エネルギー輸送対策会議		
7	〃	新日石プラスチック(株)		
8	〃	ダイキン工業(株)		
9	〃	東芝物流(株)		
10	〃	トヨタ自動車(株)		
11	〃	豊田スチールセンター(株)		
12	〃	(株)日通総合研究所		
13	〃	日本通運(株)		
14	〃	(社)日本パレット協会		
15	〃	日本ビジネスロジスティクス(株)		
16	〃	不二製油(株)		
17	〃	富士物流(株)		
18	〃	リコーロジスティクス(株)		

第3期ロジスティクス環境会議の概要 及び準備委員会の役割について

2008年6月10日

1. ロジスティクス環境会議とは？

(目的)

ロジスティクス分野における環境負荷低減のために、荷主企業と物流企業等が、課題解決方策の検討や、有用となるツールの開発等を行う活動体

(設立)

2003年11月13日設立

第1期活動期間:2003年11月～2006年3月

議長:張 富士夫 JILS会長 トヨタ自動車 代表取締役社長(当時)

第2期活動期間:2006年8月～2008年3月

議長:三村 明夫 JILS会長 新日本製鐵 代表取締役社長(当時)

第3期活動期間:2008年5月～2010年3月

議長:三村 明夫 JILS会長 新日本製鐵 代表取締役会長

- ・各施策の他社活動の参照
『省資源ロジスティクス事例集』
- ・取引条件見直しの問題提起
『取引条件見直しによる物流の環境負荷低減効果調査』
- ・加工食品をモデルとして発着荷主双方のデータに基づく現状分析、仮説立案及びその検証
『取引条件を考慮した環境負荷低減施策に関する提案－加工食品をモデルとして－』

- ・エコドライブ推進のための発着荷主含めた役割と活動項目例及びエコドライブ実践時の課題と対応策紹介
『CO2削減推進委員会 活動成果報告書 III. エコドライブ推進ガイドー輸送事業者と発着荷主の連携ー』
- ・鉄道へのモーダルシフト実施/拡大のためにクリアしなければならない課題と対応事例紹介
『CO2削減推進委員会 活動成果報告書 II モーダルシフト』

ラボレー

資源ロジスティクスへ

- ・ロジスティクス分野全般にわたる領域において、環境負荷を低減するために取り組むべき活動項目等を整理
『グリーンロジスティクスチェックリスト』

源流管理

- ・源流管理の考え方の提示
『ロジスティクス源流管理マニュアル(Ver.1)』
- ・モーダルシフト推進マニュアル
『ロジスティクス源流管理マニュアル(Ver.2) /モーダルシフト推進チェックシート・資料集』

環境パフォーマンス評価

サプライチェーン

消費者

- ・標準的な算定方法の提示
『二酸化炭素排出量算定ガイド(Ver.2)/輸配送/トラック輸送版』

- ・改正省エネ法 定期報告書、計画書の分析
『CO2削減推進委員会 活動成果報告書 IV. 改正省エネ法 定期報告書、計画書調査』

- ・改正省エネ法におけるエネルギー使用量算定の際に必要なデータの取得及び把握方法を具体的に紹介
『改正省エネ法対応ヒント集(Ver.1)』

リバースチェーン

リバースロジスティクス

- ・静脈物流共同化プラットフォーム構築施策の提示
『リバースロジスティクス調査報告書(Ver. 2)』

- ・改正省エネ法に関する要望

- ・鉄道へのモーダルシフト推進のための要望

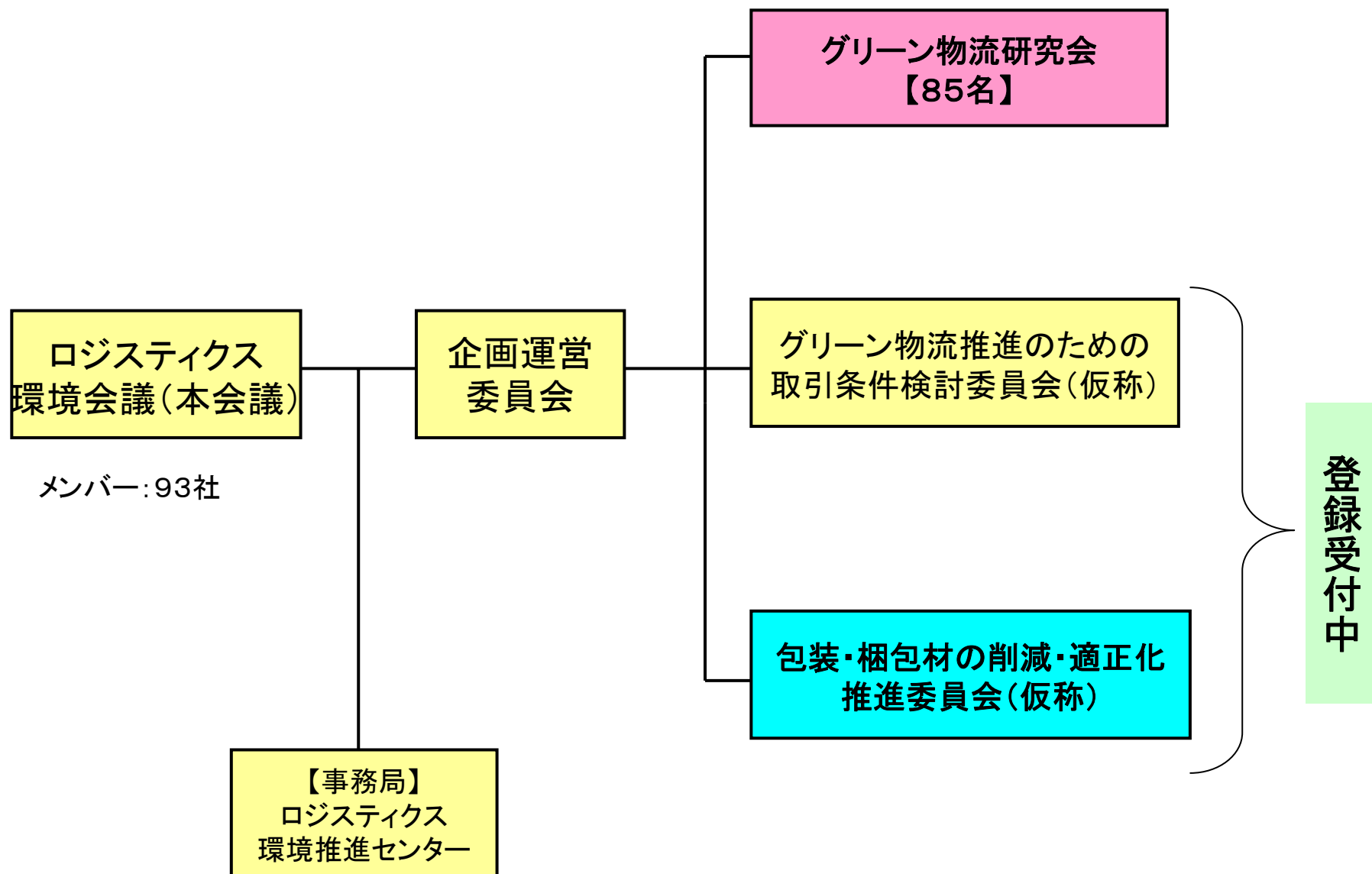
行政など(社会システム)

- ・これから活動をはじめめる企業へのヒント
『グリーンロジスティクスガイド』

- ・改善施策等の事例研究
『グリーン物流研究会 活動報告書』

- ・活動の定量的かつ継続的な報告内容の提示
『企業の環境報告書における物流の記載内容実態調査』
- ・共通知識として必要な用語等
『用語解説』『環境関連法規』『関連リンク』

2. 第3期ロジスティクス環境会議 組織図



*この他にグリーンロジスティクスチェックリストの調査を実施するWGを設置

3. ロジスティクス環境会議を構成する主な組織の役割

組織名称	主な役割	開催数(予定)	メンバー
本会議	<ul style="list-style-type: none"> ・環境会議全体の基本方針を定める ・合意事項の普及啓発と関係者に対する提言 	3回 (2008年8月、 2009年3月、 2010年3月)	代表登録者
企画運営 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境会議の基本方針案を策定し本会議に提案する ・本会議で合意された基本方針案に基づき活動方針を策定する 	年3回程度	事務局にて 委嘱
グリーン 物流研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・参加メンバー等からグリーン物流の各種事例の情報収集を通じて実践的な改善施策を研究 	年8回 (計16回)	研究会 登録メンバー
委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決方策の検討や有用となるマニュアル等の作成 ・必要に応じて、行政等へ意見・要望の提出 	年6～8回 (計14～16回)	各委員会 登録メンバー

* その他、グリーンロジスティクスチェックリストの調査を行うWG等を設置予定

＜本委員会のミッション（パンフレット記載内容）＞
包装・梱包材の削減・適正化による環境負荷低減に向けた
検討を行う

＜活動内容例(パンフレット記載内容)＞

	検討テーマ案
①	自社単独、もしくは発・着荷主、梱包メーカー等の連携による包装・梱包材の削減・適正化を実現した事例収集
②	包装・梱包材に係る実用的な環境パフォーマンス算定方法の検討、普及
③	包装・梱包材削減等に向けた各主体における役割の整理

5. スケジュール

	本会議	グリーン 物流研究会	委員会	
			包装・梱包材	取引条件
6 月		18日第2回	10日 準備委員会	12日 準備委員会
7 月	31日 第1回本会議	16日第3回		
8 月				
9 月		24日第4回	第1回委員会 (8月～9月)	第1回委員会 (8月～9月)

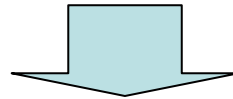
6. 準備委員会の役割

<準備委員会(6月10日)>

「包装・梱包材の削減・適正化」に関して、

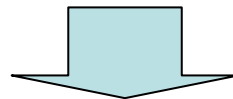
- ・抱えている課題
- ・委員会で実施したい活動内容 等

について、メンバーから意見収集(意見交換)を行う。



<企画運営委員会(6月)、本会議(7月)>

- ・本委員会の活動計画案の大枠を審議、決定



新たなメンバーの参加

<第1回委員会>

- ・活動計画案の詳細を審議、決定

環境会議における包装・梱包材に係るこれまでのアウトプットについて

1. アウトプット

1) 事例集

・「省資源ロジスティクス事例集」

(2005年3月16日 第1期CGL 省資源ロジスティクス推進委員会)

「Ⅱ. 事例集 C 包装資材等対策」の中で、①食品・流通、②機械器具・精密機器、③素材(化学・鉄鋼等)で合計13事例を収集 (参考資料2-1)

省資源ロジスティクス事例集の中で掲載されている事例の分類

内容	収集数*
段ボール→通い箱化	4事例
パレットのリターナブル、リユース	4事例
その他	7事例

*重複有

2) マニュアル類

・「ロジスティクス源流管理マニュアル Ver. 1」

(2005年3月16日 第1期CGL 源流管理による環境改善委員会)

「2. 包装」において、荷主や物流事業者が現状の包装を見直す際に必要な視点をPDCAで整理 (参考資料2-2)

*他部門、取引先への依頼等は含まれていない。

3) その他

・「グリーンロジスティクスチェックリスト Ver. 1」

(2008年3月11日 第2期CGL グリーンサプライチェーン推進委員会 源流管理分科会)

物流・ロジスティクス分野において、環境負荷低減のために取り組むべき活動項目を86項目抽出している。また、各項目には4段階の実施レベルを設け、回答することで自社の取組度合いが把握できる仕組みとなっている。

なお、包装に係る項目としては13項目(包装の見直し:11項目、製品開発において包装への考慮:1項目、パフォーマンス:1項目)ある。(参考資料2-3参照)

・「グリーンロジスティクスガイド」(第2版)

(2008年4月 第2期CGL)

物流・ロジスティクス分野における環境負荷低減活動にこれから取り組もうと考える企業を主対象として、活動のヒントとなる情報を紹介している。この中で、包装を部分的に取り上げている。

2. 考察

- ・アウトプットの一部として「包装」を取り上げただけであり、「包装」に焦点をあてて検討を進めてきたわけではない。
→内容（量、質）は十分なのか？
- ・パフォーマンスに関する検討は行っていない。

⇒過去のアウトプットにとらわれずに、第3期の参画メンバーの意向、課題を踏まえて、検討を進めたい。

以 上

委員会の名称について（案）

委員会の名称については、「包装・梱包材の削減・適正化推進委員会」としたい。

以 上